平成26年2月25日

【H26年度　第1版】社会福祉法人 山王平成会の中長期計画（9カ年計画）

法人理念

社会福祉法人　山王平成会は、
1. 多様な福祉サービスに対し、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫する。
2. 利用者が個人の尊重を保持しつつ心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的とする。

保育理念

社会福祉法人山王平成会の保育園は、子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促します。

園目標

ごしょの保育園　G（グレート）H（ハウス）は、たくさんの職員に見守られ、誰でも集えるすごいお家
G（グッド）H（ハート）」は、心の中にきらっと光る宝物を持った子ども達の素敵な心
かわしり保育園　K（kind）H（house）　思いやりのある、やさしいお家　H（hometown　love）K（kids）ふるさとを愛し、愛される子ども達
阿久和保育園　自然の中でたくましく育ち合う子ども
西柴保育園　のびのび元気に育つ子ども　楽しくいっぱい遊べる子ども　みんな仲良しやさしい子ども
阿久和キッズ　ふれあいの中で心豊かに育ち合う子どもたち

大項目	該当範囲	中項目	小項目	短期計画（H24年～H26年）			中期計画（H27年～H29年）			長期計画（H30年～H32年）		
				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
運営の視点	共通事項（山王平成会）	市役所、各区役所との連携 （保育業界関係者との人脈確保・拡大も含む）	幼保連携型認定こども園の動向確認・検討	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		園運営の効率化	セミナー・研修会等を活用した最新情報の収集	■	■	■	■					
			業務効率化		■	■	■	■	■			
			ソフト、ハード両面の対策			■	■	■	■			
		他園、他業種と比較し優位性のある園の構築（差別化）	保育・食育の質向上（セールスポイントの明確化及び向上）	■	■	■	■	■	■			
		新規職員の採用ルートの確立 （新規園開設にも迅速に対応できる体制作り）	実習生の学校訪問、ハローワーク、ブース等の有効活用	■	■	■						
		就業規則、各種規程類の見直し	就業規則全般	■	■	■						
			経理規定	■	■	■						
			給与規定（人事考課制度含む）	■	■	■						
			旅費規程（役員旅費規程）	■	■							
			人事考課規程	■	■	■						
		待機児童ゼロに向けた園としての取組み	定員構成の見直し（園運営の全体最適の追及）	■	■	■						
			各園最大定員の確保（最低限：定員確保）	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		危機管理体制の強化 （新会計基準・給与ソフト導入時期に合わせて実施）	個人情報他のセキュリティー強化（サーバー設置）		■	■						
			各園の各種成功・失敗体験の水平展開		■	■	■	■				
			各園への展開（データ保存方法のルール決め等も検討）		■	■	■	■				
		保護者との連携強化	各種イベントの連携強化（父母の会等）	■	■	■						
			保育リスクマネージメント強化（マニュアル整備、ヒヤリハット等）	■	■	■	■	■	■			
			保育業務（保育・食育）を通じた信頼関係向上	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		幼保小の取組み	小学校就学に必要な保育・食育の援助	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	ごしょの保育園	保育園の整備・職員の育成	人事考課の勉強会		■	■						
			第三者評価後の保育及び保育園の整備	■	■	■	■	■				
			園内外の補修・更新（壁・屋根、ボイラー更新・フェンス設置等）	■	■	■	■	■				
			年間通した園内・園外研修の充実化	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		地域社会との融合	地域に根ざした保育園づくり（小・中・高・大学・子育て支援等）	■	■	■	■	■	■	■	■	■

大項目	範囲	中項目	小項目	短期計画（H24年～H26年）			中期計画（H27年～H29年）			長期計画（H30年～H32年）		
				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	かわしり保育園	新体制に向けた取り組み										
			保育目標、保育課程、各様式の検討（月案、週案、日案等）									
			第三者評価受審後の「保育の質」の向上									
			園舎内外の修繕（保育室、中庭の整備等）									
		ふるさと教育の推進										
			地域住民との連携強化（川尻北区との連携）									
			秋田の伝統芸能を通した保育・教育の充実（竿燈まつり等）									
	阿久和保育園	新体制での安全・安心の保育・食育の確立										
			書き易い・見易い・評価し易い様式の作成（職員のスキル向上）									
			第三者評価受講による更なる「保育の質」の向上									
			障がい別・障がい保育・統合保育の研鑽									
			自己啓発の推進（研修会、セミナー、カリ会議活用）									
			0歳園への対応（保育、離乳食の対応等）									
		地域住民への貢献										
			子育てネットワーク事業への協賛									
			地域の子どもと高齢者との交流（多目的ホール、園庭解放の充実化）									
			幼保小との連携（連携・計画・実践）									
	阿久和キッズ（小規模保育事業）	利用者及び地域に安心・信頼される園運営										
			規定類・マニュアル等の整備									
			子育て支援の充実化（定着）									
			阿久和保育園、近隣の施設との円滑な連携（定着）									
		保育園の環境整備										
			園内外の備品購入と適正配置									
		職員のスキル向上										
			計画的な園内研修・外部研修の企画・実行（定着）									
			他園への視察（家庭的保育、横浜保育室等）									
	西柴保育園	地域社会への貢献										
			防災・防犯の強化									
			区役所、地域公共機関、地域住民との連携強化									
			一時保育の推進（常時4名/月以上確保）									
		園舎建替え										
			第三者評価受審による質の向上（マニュアルの見直し等）									
			建替えに向けた事前準備・対応（0歳児受入れの検討）									
			保育園職員による建築仕様書作成（情報収集含む）									
			園舎建替え									
人財育成の視点	共通事項（山王平成会）	職員の教育体系表（保育実践スキルの向上）										
			勤務年数（経験・知識）に合わせた教育体系表の構築									
		定期的かつ計画的な業務遂行の相談・育成援助の場（心身の健康サポートも含む）										
			面談及び自己評価表の活用（年3回実施、4園：共通書式）									
		人事考課制度の導入（年功＋能力融合）										
			人事考課制度の策定（具体的な制度案の策定・検討）									
			各園に説明会実施									
			運用開始									
		他園との人財交流及び、情報交換										
			定期的な園長・主任会開催に向けた仕組作り構築（2回/年）									
			第三者評価前に内部監査を実施（各園間で実施）									
財務の視点	共通事項（山王平成会）	新会計基準移行に向けた対応及び給与ソフト導入										
			山王平成会共通のソフト選定・運用（実作業）に向けた準備									
			秋田本部の運用開始									
			横浜地区の運用開始									
		定期的な予算進捗状況の確認（理事会、園長主任会）										
			各園共通の予算進捗状況の確認フォーマット作成（四半期毎）									
			各園当期末支払資金残高　5,000～40,000千円/年・園確保									
			経理事務員の新規採用及び育成強化									